

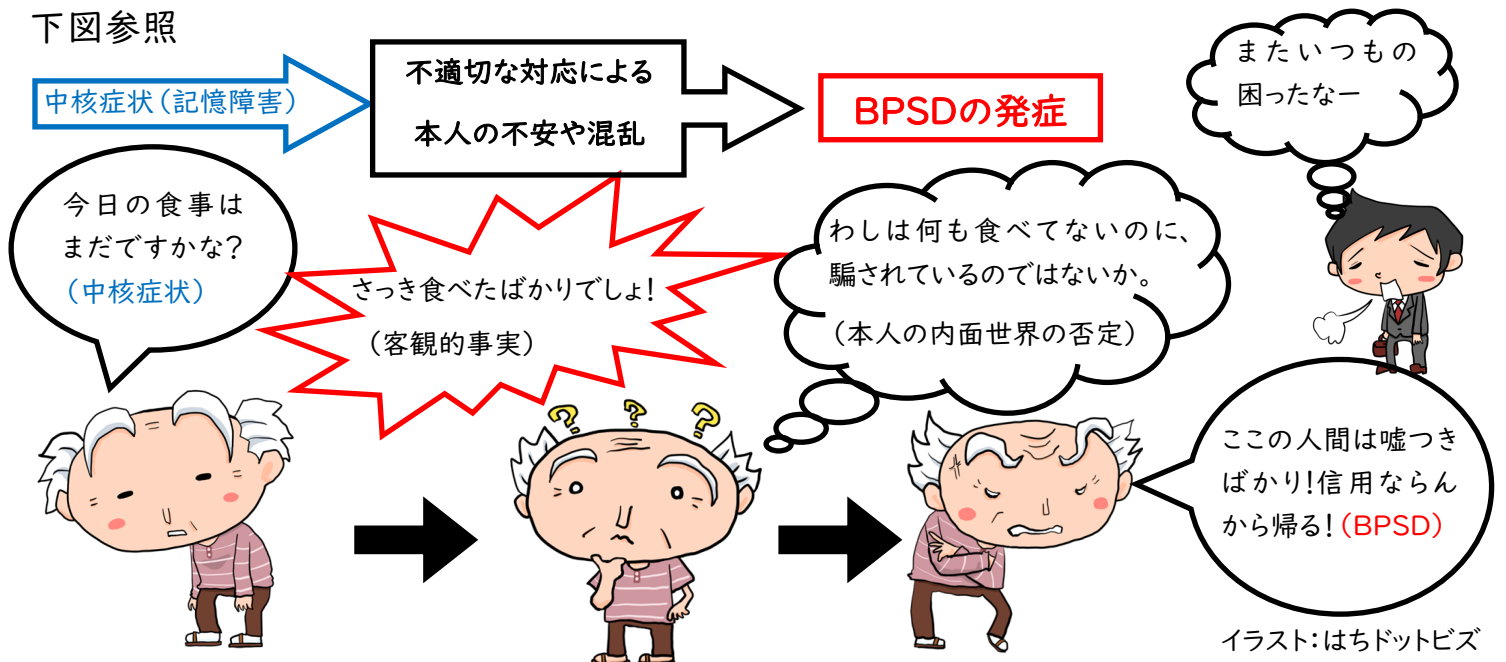
# 認知症の症状

## 中核症状 と 行動心理症状 (BPSD)

認知症の症状は次の2つに大きく分けられます。

- ①中核症状 …認知症になると誰にでも現れる症状で、進行とともに悪化していきます。  
(記憶障害、日時や場所が分からない、計画的に実行できなくなるなど)
- ②行動心理症状 …もの忘れなどの中核症状に不安や混乱が加わることで現れる症状です。  
(BPSD) 攻撃的な言動、妄想、不安、徘徊、介護抵抗などがあります。  
環境や心理状態に配慮することで、症状が軽くなる可能性があります。

下図参照



毎日の認知症の人のケアの場面では支援者もストレスが高まることでイライラし、分かっているけど優しい対応が出できずに本人にきつくあたることもあります。心の負担を軽くして余裕をもってケアを続けるためにも、自分自身を責めずに周囲にサポートを求めましょう。



このことを踏まえて…

### 認知症の人への接し方のポイント

- ・中核症状は脳の病気によるものです。もの忘れを治すことや、新しいことを覚えることは難しいため、本人が忘れた場合は根気よく何度でも教えてあげましょう。
- ・生活を大きく乱すのは主に行動心理症状(BPSD)です。不安や混乱がきっかけになることが多いので、本人の思いや世界を否定しない対応を心がけましょう。

### 認知症の人への対応4原則

- ①否定しない
- ②驚かせない
- ③急がせない
- ④自尊心を傷つけない